

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300239		
法人名	社会福祉法人 遊生会		
事業所名	高齢者グループホームまいらいふ燕		
所在地	新潟県燕市小関1389番地4		
自己評価作成日	令和4年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1591300239-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和4年2月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成30年5月1日にオープンし、3年が経過したグループホームです。まだまだ発展途上の施設ですが、プロとしての自覚を持ち、「ご利用者様のお気持ちを最優先に」という法人の基本理念と介護理念を忠実に守り、ご利用者様本位のサービス提供に努めています。職員の誰もが「ご利用者様お一人お一人にとって最適な関わりとは？」と常に考えながら、皆で意見を出し合い、日々の介護を行っております。試行錯誤の連続ですが、そのような取り組みの中で、職員同士のチームワークも向上し、職員の定着率も向上してきていると実感しています。ここでの生活がご利用者様にとってより充実したものになり、認知症の症状緩和や進行の抑制につながるよう、サービスの質の向上を積み重ねていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○家族との協力関係とその人らしい暮らしの継続に向けた取り組み

事業所は法人の理念に基づいた年間目標を掲げ、利用者の個性を尊重し笑顔になれる雰囲気づくりを心掛け、一人ひとりに合わせたサービス提供と楽しみを見つけられるよう支援している。利用者がその人らしく暮らし続けられるよう、本人や家族の思いや意向を聴き取り、センター方式のアセスメントシートを用いて職員間で情報を共有している。計画作成担当者と居室担当者を中心にアセスメントやモニタリングを定期的実施し、職員間で話し合いながら現状に即した介護計画が作成されている。職員は日々の関わりの中で利用者の状態変化や気づいたことを個々のケース記録等に記載すると共にミーティングの場などで情報を共有し、その人らしい暮らしの継続に繋げている。コロナ禍により家族との面会が困難となっている中、事業所は家族の思いに寄り添いながら窓越しでの面会の工夫を行う他、利用者の日々の暮らしの様子や体調の変化等を電話や写真入りの手紙でこまめに伝え、家族と情報を共有しながら共に利用者を支え合う協力関係を築いている。

○一人ひとりの思いに寄り添い居心地よく過ごすための取り組み

利用者が安心してより良く過ごすために、入居前の暮らしや思いの把握を家族の協力を得て丁寧に情報収集を行い、以前と変わらない安心した生活ができるよう努めている。一人ひとりの持てる力を発揮できるよう、調理での野菜切りや味付け、盛り付けや後片付け、居室掃除等、継続できるための工夫や支援を、職員で話し合っており取り組んでいる。体調管理では、以前からのかかりつけ医への受診時に、日常のバイタル測定値、食事・水分量の記録や体調観察等の書面を家族へ手渡し、心身の状態を詳細に伝え、適切な医療を受けることでいつもと変わらない生活が継続できるよう家族と協力し支援している。外出の機会が減少しストレスが募る中、職員は一人ひとりの意向や思いに寄り添いながら、利用者の希望する外出支援や活動に柔軟に対応している。事業所は年間目標である笑顔になれる雰囲気づくりに努め、利用者が安心して居心地よく過ごすことができるよう取り組んでいる。